



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社マーベラス
コード番号 7844 URL <https://corp.marv.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 澄宣
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 コーポレート本部長 (氏名) 野口 千博 E-mail ir@marv.jp

四半期報告書提出予定日 2023年11月2日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	13,999	21.2	1,153	△35.0	1,646	△32.2	1,110	△33.0
2023年3月期第2四半期	11,546	△10.1	1,774	△38.8	2,427	△18.7	1,655	△20.4

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,654百万円 (△28.3%) 2023年3月期第2四半期 2,305百万円 (7.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	18.35	-
2023年3月期第2四半期	27.41	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	36,807	28,963	78.6	477.59
2023年3月期	36,447	29,227	80.1	482.69

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 28,929百万円 2023年3月期 29,187百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	33.00	33.00
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	-	-	33.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,000	6.5	3,500	40.7	3,600	22.8	2,520	30.9	41.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	62,216,400株	2023年3月期	62,216,400株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,643,146株	2023年3月期	1,747,846株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	60,489,723株	2023年3月期2Q	60,404,091株

（注）期末自己株式数については、「株式給付信託（BBT）」の信託財産として、株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が所有している株式を含めて記載しております。当該自己株式の株式数は、2023年3月期 375,300株、2024年3月期2Q 270,600株であります。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるエンターテインメント業界は、国内家庭用ゲーム市場においては、PlayStation®5の供給安定や、Nintendo Switch™の人気継続により大幅に伸長したハード市場に牽引される形で、好調に推移いたしました。モバイルゲーム市場においては、市場が安定期を迎え、市場規模がほぼ横ばいで推移する中、特に新規参入タイトルにおいて、依然厳しい競争環境が続いています。アミューズメント市場においては、プライズ（景品）ゲームを中心に引き続き好調に推移し、前年の市場規模を上回りました。音楽映像市場においては、パッケージ市場の縮小傾向が続く中、動画配信市場は巣ごもり需要の反動により競争が激化しつつも、依然高水準で推移いたしました。ライブエンターテインメント市場においては、観客動員が改善傾向にありますが、引き続き新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等の影響による公演中止が発生している状況です。

このような状況下、当社グループは、多彩なエンターテインメントコンテンツをあらゆる事業領域において様々なデバイス向けに展開する「マルチコンテンツ・マルチユース・マルチデバイス」戦略を基軸とした総合エンターテインメント企業として、強力なIPの確立に向けたブランディング戦略・アライアンス戦略・グローバル戦略を積極的に推進し、話題性の高いコンテンツの提供とサービスの強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年9月30日）の経営成績は、売上高13,999百万円（前年同期比21.2%増）、営業利益1,153百万円（前年同期比35.0%減）、経常利益1,646百万円（前年同期比32.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,110百万円（前年同期比33.0%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①デジタルコンテンツ事業

当事業のコンシューマ部門においては、完全新作アクションRPG『FREDERICA（フレデリカ）』を2023年9月28日に国内・アジアで発売いたしました。また、前期に国内で発売した『ルーンファクトリー3スペシャル』の北米・欧州・Steam®版を同5日より順次発売したほか、弾幕アクションRPG『東方シンセカイ』を同年7月に国内外で発売いたしました。

オンライン部門においては、前期リリースの『ドルフィンウェーブ』が堅調に推移したほか、『剣と魔法のログレス いにしえの女神』や『シノビマスター 閃乱カグラ NEW LINK』、『ブラウザ三国志』といった長期運営タイトルが、経年により売上が減少したものの堅実に収益貢献いたしました。

しかしながら、利益面においては、開発費の増加及び第1四半期に発売した完全新作ジュブナイルRPG『LOOP8（ループエイト）』の不振を補うことができず、増収減益となりました。

この結果、当事業の売上高は8,015百万円（前年同期比32.7%増）、セグメント利益は156百万円（前年同期比73.8%減）となりました。

②アミューズメント事業

当事業においては、主力であるキッズアミューズメントマシン『ポケモンメザスタ』において、「ゴージャスター1弾」を2023年7月6日より、「ゴージャスター2弾」を同9月14日より稼動開始いたしました。イベントへの出展や、『ポケモンメザスタ』で使用できる「タグ」の配布等、積極的なマーケティング・プロモーション施策が寄与し、非常に好調に推移いたしました。また、海外展開中の『ポケモンガオーレ』についても引き続き好調に推移し、大きく業績貢献いたしました。加えて、人気作品『NARUTO-ナルト-』を活用した新作アミューズメントマシン『火影忍者 斗牌世界』を、中国本土において2023年9月26日より稼動開始いたしました。

この結果、当事業の売上高は4,271百万円（前年同期比4.9%増）、セグメント利益は1,593百万円（前年同期比1.0%減）となりました。

③音楽映像事業

当事業においては、劇場版プリキュアの最新作『映画プリキュアオールスターズF』が2023年9月15日に公開となり、シリーズ史上最高の興行収入で推移しているほか、TVアニメ『女神のカフェテラス』等のパッケージ商品化を行いました。

また、「ミュージカル『テニスの王子様』」や『ワールドトリガー the Stage』、「ミュージカル『憂国のモリアーティ』」等のシリーズ作品の新作公演に加え、舞台『刀剣乱舞』の7周年イベントを実施し、好評を博しました。

舞台公演及びアニメのパッケージ販売の収入が増加しましたが、舞台公演関連の補助金等の減少や、アニメの二次利用収入の減少等により、前年同期比で増収減益となりました。

この結果、当事業の売上高は1,712百万円（前年同期比19.1%増）、セグメント利益は242百万円（前年同期比33.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

当社グループの当第2四半期連結会計期間末における財政状態は、資産36,807百万円（前連結会計年度末比360百万円増）、負債7,843百万円（前連結会計年度末比624百万円増）、純資産28,963百万円（前連結会計年度末比264百万円減）となりました。

（流動資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、現金及び預金の減少等により28,380百万円となり、前連結会計年度末に比べ79百万円減少いたしました。

（固定資産）

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、無形固定資産の増加等により8,426百万円となり、前連結会計年度末に比べ439百万円増加いたしました。

（流動負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、買掛金の増加等により7,609百万円となり、前連結会計年度末に比べ728百万円増加いたしました。

（固定負債）

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は、役員株式給付引当金の減少等により234百万円となり、前連結会計年度末に比べ104百万円減少いたしました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益1,110百万円を計上したものの、前連結会計年度の配当により利益剰余金が減少したことにより28,963百万円となり、前連結会計年度末に比べ264百万円減少いたしました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ506百万円減少し、12,047百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、税金等調整前四半期純利益1,646百万円、棚卸資産の増加804百万円等により、389百万円（前年同四半期は171百万円の獲得）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果獲得した資金は、定期預金の払戻による収入1,410百万円、有形固定資産の取得による支出178百万円、無形固定資産の取得による支出634百万円等により、481百万円（前年同四半期は3,254百万円の使用）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、配当金の支払額2,007百万円により、2,007百万円（前年同四半期は2,007百万円の使用）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月11日発表の業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,888	12,047
受取手形、売掛金及び契約資産	3,551	3,901
電子記録債権	212	256
有価証券	400	400
棚卸資産	8,042	8,882
その他	2,365	2,905
貸倒引当金	△0	△12
流動資産合計	28,460	28,380
固定資産		
有形固定資産	525	411
無形固定資産	1,001	1,247
投資その他の資産		
投資有価証券	4,183	4,436
繰延税金資産	2,139	2,163
その他	218	249
貸倒引当金	△81	△82
投資その他の資産合計	6,460	6,767
固定資産合計	7,986	8,426
資産合計	36,447	36,807
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,644	2,117
短期借入金	160	160
未払金	1,289	1,018
未払印税	984	1,014
未払法人税等	1,122	615
引当金	427	241
その他	1,252	2,441
流動負債合計	6,880	7,609
固定負債		
長期末払金	114	114
株式給付引当金	58	48
役員株式給付引当金	94	—
資産除去債務	71	71
繰延税金負債	0	0
固定負債合計	338	234
負債合計	7,219	7,843
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,611	3,611
資本剰余金	8,744	8,744
利益剰余金	17,989	17,092
自己株式	△1,830	△1,740
株主資本合計	28,515	27,708
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△84	△88
為替換算調整勘定	756	1,310
その他の包括利益累計額合計	671	1,221
非支配株主持分	39	33
純資産合計	29,227	28,963
負債純資産合計	36,447	36,807

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	11,546	13,999
売上原価	5,677	7,955
売上総利益	5,868	6,043
販売費及び一般管理費	4,094	4,890
営業利益	1,774	1,153
営業外収益		
受取利息	62	123
為替差益	671	365
その他	5	6
営業外収益合計	739	495
営業外費用		
支払利息	0	0
貸倒引当金繰入額	85	0
その他	0	0
営業外費用合計	86	2
経常利益	2,427	1,646
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産売却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純利益	2,427	1,646
法人税等	778	542
四半期純利益	1,649	1,104
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,655	1,110
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6	△6
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22	△3
為替換算調整勘定	679	553
その他の包括利益合計	656	550
四半期包括利益	2,305	1,654
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,312	1,660
非支配株主に係る四半期包括利益	△6	△6

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,427	1,646
減価償却費	474	653
映像コンテンツ償却額	46	87
のれん償却額	20	20
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	85	12
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△311	△193
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△78	4
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	△33	△9
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	△42	△94
受取利息	△62	△123
支払利息	0	0
固定資産売却損益 (△は益)	△0	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	1,044	△328
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,499	△804
仕入債務の増減額 (△は減少)	△120	453
未払金の増減額 (△は減少)	△118	△294
未払印税の増減額 (△は減少)	△320	△17
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△16	△41
その他	△712	312
小計	782	1,285
利息及び配当金の受取額	58	156
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△668	△1,052
営業活動によるキャッシュ・フロー	171	389
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,010	—
定期預金の払戻による収入	—	1,410
有形固定資産の取得による支出	△109	△178
有形固定資産の売却による収入	1	5
無形固定資産の取得による支出	△1,053	△634
投資有価証券の取得による支出	—	△86
投資有価証券の売却による収入	1	—
長期貸付けによる支出	△85	—
その他	0	△35
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,254	481
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△2,007	△2,007
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,007	△2,007
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,258	630
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,833	△506
現金及び現金同等物の期首残高	16,431	12,553
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,598	12,047

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益及び包括利益計算書計上額 (注) 2
	デジタルコンテンツ事業	アミューズメント事業	音楽映像事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,038	4,070	1,438	11,546	—	11,546
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,038	4,070	1,438	11,546	—	11,546
セグメント利益	598	1,609	364	2,572	△798	1,774

(注) 1 セグメント利益の調整額△798百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益及び包括利益計算書計上額 (注) 2
	デジタルコンテンツ事業	アミューズメント事業	音楽映像事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,015	4,271	1,712	13,999	—	13,999
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	8,015	4,271	1,712	13,999	—	13,999
セグメント利益	156	1,593	242	1,992	△839	1,153

(注) 1 セグメント利益の調整額△839百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。